



題字：横内真里菜さん

Vol.6 夢をいだって アルプス福祉会だより
車いすで、国宝へ。



サポーターだより \ いつもありがとう、サポーターさん! /



三山友紀さん

「私が第2コムハウスにボランティアにくるきっかけは、新聞に載っていた第2コムハウスボランティア募集の広告でした。当時ダウン症の四男の将来のことをいろいろと考えていた時で、息子が将来働く場所がどんなところかまったく知らなかったのも、とても興味を持ったんです。療育の先生や友人からも行ってみたら、とすすめてくれて思い切って参加してみました。はじめは利用者の皆さんと一緒に車で段ボールや古紙の回収に行ったり、手づくり雑貨をつくるお手伝いをしていました。コロナ禍後の現在は、主に農福連携サポーターとしてボランティア活動をしています。日中なかまたちがどんなことをしているのか、そのためにどんな支援があるのかとても面白いし、勉強になります。そしてなにより今までの「ふつう」にこだわらなくなった自分の世界が広がっていく感じです。行くたびにいつもなかまたちから三山さん！と声をかけてもらえて、とてもたのしいです。」



ファーマーズコム新村の皆さん

「『ファーマーズコム新村』は地域の専業農家さんや自家用野菜の生産者さんの集まりで、2013年に発足しました。同じ地区にある第2コムハウスのために、何か活動できないか、当時の施設長さんと一緒になって、県内の農福連携事業の視察に行ったり、県の支援も受けながら、直売所と食用ほおずきや野菜の栽培を始めたのが最初です。現在は第2コムハウスで運営している直売所に私たちの野菜を納入することで、その売り上げの一部が利用者の方々のお給料（工賃）になっています。この活動でうれしいのは自分でつくった農産物を皆さんに買っていただけることと、おつきあいの場がふえるよこびがあることですね。直売所があることで、地域の人たちが施設に気軽に買いにきて、自然と交流する場になっていることが、活動していてよかったと思います。これからも地域に根付いた様々な取り組みを、第2コムハウスの皆さんと一緒に日々活動していきたいですね。（代表・赤澤久喜さん談）」



農産物直売所



寄付金のご協力ありがとうございました！～寄付のご報告～

2024年度にアルプス福祉会へお寄せいただいた寄付金(事業所への寄付や、用途を指定された寄付は含まず)は合計 3,564,770 円となりました。2025年度に、次のとおり活用させていただきます。ご支援に深く感謝申し上げます。

- 薪割り機の修繕(ねくすと) 約 500,000 円 / ●クッキー室手洗い台の交換(コムハウス) 145,750 円 / ●災害への備え(第2コムハウス) 130,597 円
- 蓄電池等(えだまめ) 108,550 円 / ●作業用ユニホーム等(第2コムハウス) 54,375 円 / ●災害食(グループホーム) 49,891 円
- 返礼品の作成(本部) 26,645 円 / ●大規模改修・車両購入への備え(本部) 約 2,500,000 円



アルプス福祉会へのご寄付を引き続きお願いします

アルプス福祉会は「障がいのある人もない人も、お互いに尊重しあい、協力して生きていく」地域をつくり続けて40年目を迎えます。そんな地域づくりをすすめるために、皆様からのご寄付を募集しています。私たちといっしょに地域づくりをすすめていきましょう。

アルプス福祉会ではさまざまな寄付の方法をご用意しております。

マンスリーサポーター (毎月の寄付)	イヤーサポーター (毎年の寄付)	いつでもサポーター (不定期または随時の寄付)
毎月 500 円	毎年 5,000 円	従来通りの寄付 (個人・法人・団体)も お受けしております。
1,000 円	10,000 円	
5,000 円	50,000 円	

いただいた寄付金は主に以下の事業に使用させていただきます。

- 新事業の開設や既存施設の修繕
- 送迎車両の購入・修繕
- 地域との交流や学びの場づくり

- 寄付金額にあわせた税金の控除が受けられます。
- わくはくは下記までお問い合わせください。



アルプス福祉会 SNS のフォローはこちらから↓

Instagram インスタグラム
Facebook フェイスブック
各事業所の日々の活動の様子を配信しています



note ノート
職員によるコラムなどを配信しています



車いすで、国宝へ。

生活介護事業所コムハウスのすまいる班には、大きな車いすで呼吸器や吸引器などを常に持ち歩いている仲間たちが通所しています。いろいろな所へ行ってみたい、体験したいという思いを日々考えています。今回は松本城にお出かけした、お二人のなかまに同行取材しました。また、お二人の外出を応援してくださったバス会社さんと、松本城の市の担当の方にお話を伺いました。

START

GO!

GO!



いよいよ乗車して出発!



お出かけの荷物はたくさんありますが、どれも必需品。忘れ物のないようチェックを欠かしません。



知世さんの体調を最終確認します。



車いすの下に呼吸器をつけます。



一ノ瀬さんの母、かおりさん
「知世の移動には呼吸器が必要なので、(母親)ひとりだけでは外出ができません。外出の機会が少ないので、松本城を楽しめて良かったです。お出かけがある日は「今日は何だ?」といつもと違う雰囲気を感じている様子で、癒しや楽しみにつながっています。」



車内でも体調を常に見つつ松本城へ向かいます。



松本城に到着。埋橋を見ながら天守閣へ向かいます。



途中、痰の吸引も忘れません。



コイがない...一回休み。



城内の砂利に車輪がめりこみますが、支援員のパワーでのりきります。

GOAL

Oops!
身分証明書を
持っていけばよかった...
今回はお城の前に行って満足!でしたが、
そういえば本丸庭園の観覧は身分証明書
(松本市民であることがわかるもの。また
は障害者手帳など)を持っていけば、無料
でした...
今度は中に入って楽しもう!



ちょっとした段差を無事越えました。



白鳥をながめて一回休み。



バス停に到着したら、太鼓門から入城です。



運転手さんが事前にお願していたスロープを出してくれました。



もうすぐ路線バスが到着。初めての乗車にワクワク!



一恵さんと松本駅前待ち合わせ。気分もあがります。

青木一恵さんの母、久枝さん
「一恵は風を感じるのが大好きで、外で風を感じると表情も明るくなります。今回は路線バスに乗車することが初チャレンジで、親だけでは難しい外出支援はとてうれしいです。」



全重量は約 50 キロ。しっかり支えて乗車します。



バス前方の車いすスペースでは安全に乗車することができます。

松本市松本城管理課
課長 松岡由香さん



「松本城は古い時代の建物そのままの姿を見ていただいているため、高低差がある場所が多いです。また、地面も史跡であるため、現状回復できるような可動式なものでないといけない等、様々な決まりがありますが、その中でも皆さんが来城していただけるように整備を徐々にすすめています。行ってみたいけど心配なことがあったら、事前に電話やHPで確認していただけますし、予約なしでも使える車いすを駐車場に配備しているので、ぜひ庭園や、天守閣を見に来てくださいね。」

アルピコ交通株式会社
運輸事業本部松本営業所
所長 斉藤 敦さん



「全車両でバリアフリー車両を配備できていないため、車いすでバスにご乗車されるお客様には、事前のご連絡をお願いしています。お客様が安心してご乗車いただけるよう、運転手が準備いたします。事前の連絡をお願いしていて、不便さがあるかもしれませんが、運転手もお手伝いいたしますので、ぜひご利用していただければと思います。」

アルピコ交通株式会社
運輸事業本部松本営業所
職長運転手 吉崎 元庸さん



「運転中は、交差点で曲がる時の遠心力や、段差等が影響ないように安全に配慮しています。社内研修で、車いすのお客様を想定しシミュレーションを行っており、運転手の意識も高くなってきました。車いすのお客様は、通勤通学、通院等の定期的にご利用される方が多く、運転手間でも共有しているので、安心してご乗車いただけます。」